

長浜市雪寒体制のあり方懇話会 第5回 要点録

1. 日 時 平成30年3月6日(火) 15時00分～16時10分終了
2. 場 所 浅井支所3階大会議室
3. 出席者 立命館大学 特任教授 塚口 博司氏
社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 副参事 藤元 法子氏
伊香地区交通安全協会 副会長 田中 俊之氏
滋賀県建設業協会長浜支部長 森 善昭氏
滋賀県建設業協会伊香支部長 阪本 路弘氏
長浜市都市建設部長 米澤 辰雄氏
長浜市北部振興局長 山田 昌宏氏 以上7名
(その他 事務局6名)
4. 欠席者 5名
5. 傍聴者 3名
6. 取 材 なし
7. 内 容
 - (1) 開会のあいさつ(資料の確認等)
下司次長、塚口座長より開会の挨拶を行った。
 - (2) 会議の公開について
協議の結果、会議を公開とすることが決定した。
 - (3) (素案)長浜市道路雪寒対策の基本的な考え方(案)の概要について
素案における第4回あり方懇話会からの主な修正点について事務局説明を行った。
質疑等については以下のとおり
 - 1) 基準の明記について
【委員】 出勤基準や融雪剤散布に関する基準を明記いただきたい。
【座長】 実際の作業の立場では基準が必要ということだが、基本的な考え方(案)としての対応はどうか。
(事務局) 今回は基本的な考え方(案)を整理させていただいた。基準等は来年度に詰めさせていただく。
 - 2) 市の現状の視覚的な訴えについて
【委員】 今回提示の基本的な考え方(案)は公表されるのか。
(事務局) 今回の基本的な考え方(案)を基にして、引き続き検討を進め、まとめができた時点で公表させていただきたいと考えている。

【委員】 今後、何かを計画する時の資料として使用されるのであれば、限られた箇所の写真だけではなく、市の現状が視覚的に訴えるものになれば良いと感じた。

【座長】 少し写真を追加したほうが良いがどうか。

(事務局) 今回、撮影した時期により限定的なものとなった。他の写真は確認させていただく。

【座長】 事務局が撮ったものに限らず、市民からの提供も含めて入ればわかりやすくなる。長浜市を一様に画一的に捉えるのではなく、色々な特性があって雪寒対策が難しいことを知っていただく意味でも集めていただきたい。

(事務局) わかりました。

3) 消雪装置のメンテナンスについて

【委員】 降雪時に水が出ないで、雪が降っていない時に水が出ている状態が結構ある。どのように管理しているか知りたい。

(事務局) 雪寒期間前の10~11月に点検を実施している。融雪装置は降雪時と気温が下がった状態の時に作動するようになっている。雪が止んでも気温が上がらなければ作動したままになっている。

【委員】 わかりました。

4) (素案) 長浜市道路雪寒対策の基本的な考え方(案)のとりまとめについて

【座長】 本日の素案に若干の修正を加えたものについて、このあり方懇話会としての報告資料がとりまとめられるのか？

(事務局) 今回のものを原案としてとりまとめさせていただく。今後は、原案に基づいて個別の課題について計画を立て、原案とともに公表できる形にしていく。

【座長】 このメンバーが集まることはないため、原案は各委員へ送付いただくことでよいか？

(事務局) わかりました。

(4) 閉会のあいさつ

(事務局) 委員の皆様は3月末をもって任期満了になる。本当に色々ありがとうございました。皆様のご協力で基本的な考え方を取りまとめることができ感謝している。今後は、有識者の方々の意見を取り入れながら具体的な施策を練って行く必要があると考えている。来年度以降、意見を伺う場を継続して持ちたいと思っているので、委員の皆様をお願いした場合はご協力いただきたい。

【座長】 これにて長浜市雪寒体制のあり方懇話会を終了させていただく。

以上

(終了：16時10分)